



2026/4/1 第94号

札幌市中央区界川1丁目6-14 札幌南藻園

TEL 011-561-0668

FAX 011-561-0701

発行者 赤坂 秀彦



〈ご挨拶〉

この春は、4人の若者が巣立ち、2名の子どもが家庭へと戻りました。3月7日には、日頃から支援をいただいている方々にもご臨席いただき、社会へ巣立つ卒園生を送り出す激励会を開催いたしました。

ちょっとした驚きだったのは、子どもたちが儼かな雰囲気を作ってくれたことでした。2時間ほどの式典でしたが、静かで、滞りもなく進みました。適切な場面で、礼をして、拍手をしていました。終わりの記念撮影や手をつないで作ったアーチで卒園生を送り出した場面では、賑やかな子どもたちに戻っていました。

そういえば、新年に開催した交礼会の時も同様なことがありました。子どもと職員一人ひとりが今年の抱負を話す場面があり、60名は優に超えていたかと思いますが、自分の番ではしっかりと話し、他の人が話している時には、その人に顔を向けて話を聞いている様子が見て取れました。

子どもたちは確実に成長している、そう実感しました。こうした場面に立ち会うことができる幸せ・贅沢を感じながらも、改めて、我々職員からしっかりと子どもの話を聴き、伝えていくことをしていかなければ、そういった姿勢を子どもたちにしっかりと示していかなければいけないと考えさせられました。

激励会の数日後、夕食をともにした小学生の子に、会での行儀の良さをほめたところ、「退屈で足をブラブラさせちゃった」と答えが返ってきたことは、まあご愛嬌ということにしておきましょうか。

札幌南藻園、2026年度がスタートしました。40名というこじんまりとしたスタートで、高校生が6人増え、小学校新入学の子どもがいないといったちょっとした高齢化がうかがわれますが、幼児の入所や打診もあり、小規模化後初めて複数のユニットで幼児が暮らすこととなります。子どもたちの様子・雰囲気も変わっていくと思われ、我々もそれに柔軟に対応していかなければなりません。皆様におかれましては、変わらぬご支援・ご声援をよろしくお願いいたします。

園長 赤坂 秀彦

激励会の様子

3月7日(土)、地域交流サロンにて卒園児童を送り出す激励会を行いました。今年は4名の児童が卒園となり、関係者の方々もお招きした中で立派な旅立ちをお祝いすることができました。皆さんがそれぞれの道で活躍できることを応援しています。



退職のご挨拶



福祉指導員 菅原 裕実

福祉指導員 八角 花実

2026年3月末日をもって退職されました。長年南藻園を支え、児童への支援にご尽力いただきありがとうございました。またいつでも子どもたちに会いに来てくださいね🌸



〈4月行事予定〉

4月1日 小・中学校 入学受付
4月8日 小・中学校 始業式
4月9日 中学校 入学式



〈2026年度在籍児童数〉

幼児 2名
小学生 17名
中学生 13名
高校生 8名

(男児19名、女児21名)

☆新年度40名でのスタートとなります。
どうぞよろしくお願いいたします。

☆意見表明について

3月は意見表明が2件ありました。

作成 菅原

各担当より

